

## 別添資料2

## HISTORICA 2010

## クリエイターズ・サミット開催のご案内

国やメディアの垣根を越えて変化し続ける歴史創作コンテンツ＝レキシゲキは、世界中の人々を魅了するクールコンテンツへと成長し続けています。クリエイターズ・サミットでは進化する『レキシゲキ』を支える1) VFX技術2) クロスメディア3) 国際化の3つのファクターに着目し、世界の時代劇製作の第一線で活躍する方々とともに、これからの『レキシゲキ』製作について議論します。同時に、時代劇の聖地・太秦で、京都の時代劇製作の将来についてグローバルな視点からの議論も行います。皆様のご来場をお待ち致しております。

## 記

## クリエイターズ・サミット 1

## 『重力からの解放—変化するレキシゲキアクション』

開催日時: 2010年12月11日(土) 12:45~14:45

会場: 東映京都撮影所第一試写室

日本語・英語による同時通訳有

## 企画趣旨:

これまでマンガやアニメでしか表現できなかった重力に縛られずに宙を舞い縦横無尽に飛び回るアクションの数々は、VFXの進化によって実写でも実現可能な表現手法となりました。このことは同時にファンタジーや伝説をモチーフにした作品が作られ、旧来の時代劇に変化を与えるきっかけとなりました。クリエイターズ・サミット

1ではアクション歴史劇の製作経験を持つ映画人を集め、VFXが可能にした映像表現と太秦の時代劇に代表される殺陣・アクション技術の今後について語り合います。

**登壇者：**

**チェ・ヨンファン（『チョン・ウチ』撮影監督）**

1971年生まれ。韓国でインターネットシネマの先駆けとして話題となったアクション短編『タチマワ・リー』（2001）のカメラを担当。『子猫をお願い』（2001）で、長編デビューを飾る。2006年には『タチャ・イカサマ師』（2006）で青龍映画賞撮影賞を受賞。さらに『チョン・ウチ』（2009）では、第30回韓国映画評論家協会賞撮影賞を受賞した。

**ホ・ミョンヘン（『チョン・ウチ』武術監督）**

1976年生まれ。武術監督。担当した主な作品は『グッド・バッド・ウィアーード』（2008）、『国家代表！？』（2009）など。

**マイケル・ペイサー（『ウォリアーズ・ウェイ』プロデューサー）**

ブロックバスター作品から最先端のインディペンデントまで幅広く活躍するプロデューサー、南カリフォルニア大学映画芸術学部教授。世界初のライブ立体3-D映画『U2 3D』にはエグゼクティブ・プロデューサーとして参加。2007年カンヌ映画祭で話題をさらった後、2008年のサンダンス映画祭でのワールドプレミアを経て、世界各国のデジタルIMAXおよび3Dシアターで上映された。これまでに数多くの劇場用作品をプロデュースしているが、中でもベット・ミドラー出演『殺したい女』（1986）、『ビッグ・ビジネス』（1988）、イギリスの児童文学を映画化した『マチルダ』（1996）などは興業的にも成功を収めた。

**モデレーター：米田武朗（東映京都撮影所 エディター）**

1964年、神戸生まれ。1992年より東映京都撮影所編集に勤務。97年、テレビ朝日『新・御宿かわせみ』より編集技師昇格。以後テレビでは『影武者 徳川家康』『新撰組血風録』『暴れん坊将軍』『科捜研の女』等220

本。劇場用映画では、『RED SHADOW 赤影』（2001）をはじめ、『茶々 天涯の貴妃』（2007）など。2005年『男たちの大和』では第30回日本アカデミー賞 優秀編集賞を受賞。2006年京都映画祭 京都映画奨励賞 受賞。

## **クリエイターズ・サミット 2** **『歴史エンタテインメント新潮流』**

**開催日時：2010年12月11日（土）16：00～18：00**

**会場：東映太秦映画村中村座**

### **企画趣旨：**

歴史という民衆の間で共有された世界観から生まれた物語によって様々な形で表現される『歴史エンタテインメント』。クリエイターズ・サミット2では、歴史創作というジャンルにおいて一流のエンタテインメントをつくりあげた方々をお招きし、如何にメディアの特性と、時代劇という世界観を生かしながらメッセージを発したのかについて語っていただきます。

### **登壇者：**

#### **大友啓史 （大河ドラマ『龍馬伝』演出）**

1966年岩手県生まれ。慶應大学法学部卒業後、NHK入局。番組制作局ドラマ番組部でドラマ制作に携わる。97年米国ロサンゼルスに留学、ハリウッドの映像演出を学ぶ。『ちゅらさん』シリーズ等を担当、土曜ドラマ『ハゲタカ』の演出で、イタリア賞ほか国内外の賞を多数受賞。東宝配給で映画化もされ、監督を務める。スペシャルドラマ『白洲次郎』（脚本、演出）で芸術祭優秀賞、現在放送中の大河ドラマ『龍馬伝』ではチーフ演出を務める。

#### **佐藤幹夫 （NHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』演出）**

昭和20年生まれ。東大文学部（ロシア文学）卒。NHKでドラマ番組を演出。主な演出番組。大河ドラマ『太平記』『秀吉』。単発ドラマ『破獄』（芸術作品賞）同『海の群星（むりぶし）』（芸術作品賞）同『約束の旅』（文化庁芸術選奨新人

賞) 金曜時代劇『蝉しぐれ』(モンテカルロテレビ祭グランプリ、放送文化基金賞演出賞) 単発ドラマ『私の愛したウルトラセブン』(放送文化基金賞) 銀河テレビ小説『たけし君、ハイ!』 単発ドラマ『聖徳太子』など多数。他に時代劇として藤沢周平原作『立花登青春手控え』 平岩弓枝原作『御宿かわせみ』 正月時代劇『五右衛門』などがある。

### **北見 健 (『維新の嵐 疾風龍馬伝』、『信長の野望』 シリーズプロデューサー)**

1992年コーエー/プロデューサー(現コーエーテクモゲームス)入社。以降、プログラマーとして『信長の野望・天翔記』や『三國志V』など歴史を題材とした多くのゲーム開発に関わる。『太閤立志伝IV』で初めてプロデューサーを務め、近作では『維新の嵐 疾風龍馬伝』や『信長の野望・天道 パワーアップキット』のプロデュースを担当。

### **鳥羽洋典 (『刀語』 シリーズプロデューサー)**

株式会社アニプレックス/プロデューサー 1977年生まれ。スタジオジブリで『ハウルの動く城』の演出助手などを務めた後2004年にアニプレックス入社。その後、『天元突破グレンラガン』『AngelBeats!』『刀語』『みつどもえ』などをプロデュース。

### **モデレーター：中村彰憲 (立命館大学映像学部准教授)**

1969年生まれ。急速に普及が進んでいる中国のオンラインゲームのケーススタディの他、映画産業とゲーム産業が連携して開発されたコンテンツの制作プロセスなどの研究にも取り組んでいる。主な著作に『2003年中国ゲーム市場レポート(翻訳・監修)』(エンターブレイン) 他。

## クリエイターズ・サミット3

### 『越境するレキシゲキ』

開催日時：2010年12月12日（日）18：30～

会場：東映京都撮影所第一試写室

\* 日本語・英語による同時通訳あり

### 企画趣旨：

これまで国内向けとして製作されてきた歴史大作の多くが、インターネットの普及等によって国内外へとグローバルに展開されるようになりました。クリエイターズ・サミット3では国際化する歴史映画を支える背景やその戦略について考えます。歴史映画が『越境する』ために生み出される物語やそこから生み出されるイメージはどのようにして創りだされるのか—国際共同製作の経験が豊かな登壇者を集めてその経験や知識を共有していきます。

### 登壇者：

#### イ・ジュイック（『ウォリアーズ・ウェイ』プロデューサー）

韓国に拠点を置く2003年創立の映画制作・タレントマネジメント会社 Boram Entertainment の CEO。最近では、アンディ・ラウ、アン・ソング出演のジェイコブ・チャン監督の中国・香港・日本・韓国合作映画『墨攻』（2007）のプロデューサーを務めた。その他合作プロデュース作品に、2005年ベネチア国際映画祭のオープニングを飾ったツイ・ハーク監督の中国・香港合作映画『セブンソード』があり。韓国語・英語のほか日本語・中国語にも堪能。

#### イ・スナム（『ウォリアーズ・ウェイ』監督）

韓国国内の主要な映画賞で受賞、韓国エンターテインメント界で高い評価を得ながら、多くの長編・短編映画の脚本を手がけている。特に、脚本・プロデューサーを務めたインディペンデント長編映画『Sunday Seoul』では2004年バンクーバー国際映画祭審査員特別賞を受賞。1995年ニューヨーク大学映画プログラム、映画研究・映画制作専攻において修士取得後、韓国芸術総合学校映画学部創設メンバーとなり、現在も教職に就く。

### **ジョン・マイヤー（プロダクション・デザイナー）**

1998年、『エリザベス』（シェカール・カプール監督）でアカデミー美術賞に初めてノミネートされ、その後『シカゴ』、『SAYURI』（いずれもロブ・マーシャル監督）で2度のオスカーに輝く。

主な参加作品：『X-MEN』（2000）、『シカゴ』（2002）、『ホーンテッドマンション』（2003）、『SAYURI』（2005）、『ドリームガールズ』（2006）、『ウォンテッド』（2008）、『NINE』（2009）他。

### **三池崇史（映画監督）**

今村昌平監督や恩地日出夫監督の助監督を経て、91年にOV『突風？ミニパト隊』で監督デビュー。その後『ボディガード牙』（1993）『新宿アウトロー』（1994）などOV作品を多数手がけ、95年に『新宿黒社会 チャイナマフィア戦争』で劇場映画デビューを果たす。その後もOV作品の『大阪最強伝説 喧嘩の花道』（1996）『FULL METAL 極道』（1997）や、劇場映画の『中国の鳥人』（1998）『IZO』（2004）など、OV、劇場公開作品にこだわることなく製作を続けている。最新作は『十三人の刺客』（2010）。

### **モデレーター： 井関惺（映画プロデューサー）**

早稲田大学在学中に日本ヘラルド（株）に入社。同社宣伝部、国際部を経て81年（株）ヘラルド・エース設立と同時に同社取締役役に就任。89年フィルム・デベロップメント・アンド・ファイナンスを設立。現在はワールドワイドに映画製作に携わる傍ら、若手の育成にも力を注いでいる。01年に設立したハーク&カンパニーはアジアの才能と共同で映画を開発することを目的とし、企画立案からファイナンス、世界セールスを実行する。06年設立のタラ・コンテンツでは幅広く映像の共同製作・開発、ファイナンスを手がける。代表作は『始皇帝暗殺』『墨攻』『スモーク』『世界催促のインディアン』『レイン・フォール／雨の牙』。

## 入場方法

全てのプログラムは、下記公式サイトからの事前応募のみで受付を行います。

入場料は無料です。

**HISTORICA2010 公式サイト**：<http://www.historica-kyoto.com/>

申込期間：2010年11月22日（月）12時～12月6日（月）24時まで

抽選発表：2010年12月8日（水）までにメールにて通知いたします

\*応募者多数の場合は抽選となります。

以上。